

あさつき防除暦

【2026年度】JA庄内たがわ

2025.12.15時点の農業登録情報で作成

	適用病害虫名	薬剤名	RAC コード	希釈倍数又は処理量	使用時期	使用回数
病害	べと病、黒斑病、さび病	アミスター20フロアブル	F:11	2000倍	収穫3日前まで	4回以内
	黒斑病、小菌核腐敗病	ロブラール水和剤	F:2	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内
	軟腐病、べと病	Zボルドー ※野菜類(キャベツを除く)で登録	F:MO1	500倍	発病前～発病初期	-
	さび病	イオウフロアブル	I:UN F:MO2	500倍	発病前～発病初期	-
害虫	ネギハモグリバエ	ベストガード粒剤	I:4A	6kg/10a	定植時 (植溝処理土壌混和)	1回
	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	アクタラ粒剤5	I:4A	6kg/10a	植付時(作条混和)	1回
		モスピラン粒剤	I:4A	6kg/10a	植付時(植溝土壌混和)	1回
	ネキリムシ類	カルホス微粒剤F(劇)	I:1B	6kg/10a	植付時 (土壌表面散布土壌混和处理)	2回以内
	タネバエ	ダイアジノン粒剤3	I:1B	5～8kg/10a	植付時(土壌混和)	2回以内
	コガネムシ類幼虫			5～10kg/10a		1回
	アザミウマ類	ダイアジノン乳剤40(劇)	I:1B	700～1200倍	収穫30日前まで	2回以内
	アブラムシ類、ネギコガ			1000倍		
	ネギハモグリバエ			1000～2000倍		
	シロイチモジヨトウ	アフーム乳剤	I:6	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内
アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	I:5	2500～5000倍	収穫3日前まで	3回以内	
シロイチモジヨトウ			5000倍			

除草剤	1年生雑草	クレマート乳剤	H:3	200～400ml/10a (散布液量100～150l/10a)	定植活着後(雑草発生前) 但し、定植10日後まで	1回 (全面土壌散布)
	1年生雑草(ツククサ科、 カヤツリグサ科、キク科、 アブラナ科を除く)	トレファノサイド粒剤2.5	H:3	4～5kg/10a	定植後雑草発生前 但し、収穫30日前まで	2回以内 (全面土壌散布)

適正管理対策

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 適正な栽培密度とし、通風・作業性の改善を図る。
3. 圃地の適正な排水管理を行う。
4. 病害虫の温床となる部分は、病害虫の発生時期を考慮し随時除去する。
5. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。
6. みつばちへの配慮を行う。

防除器具の洗浄不足対策

- ・防除器具は、前回散布後にじゅうぶん洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調製前にもう1度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用後、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。